



「めあてをもつ」「みんなでやる」「じぶんでいのちをまもる」

未来につながる児童の育成を保護者・地域と共に!!

## 気持ちも新たに 令和7年スタート!!

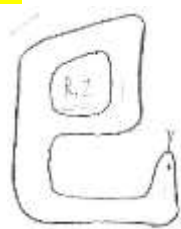
令和7年がスタートしました。始業に当たり式で「へびどし」の話をしました。

「へび」はすごい動物。「脱皮」することから「成長」や「復活と再生」の象徴で多くの国で「神のつかい」として崇められています。

次に「へび」を「蛇」や「巳」と書くことを子どもたちに考えさせました。

年賀状などでは「巳」と書くけどどうしてでしょう。何がちがうのでしょうか。

十二支で使われる「巳」の字は、実はおなかの中の赤ちゃんの象形からつくられています。「巳」の字は「生命誕生」や「希望の未来」を象徴しています。つまり今年「へび年」はとても縁起の良い年なのです。



横山っ子のみんなにとって新年のスタートである3学期は、次の学年につながる大切な学期です。6年生は小学校生活のまとめと中学進学への準備期間。在校生は一つ上の学年の「0学期」です。新たな夢の実現に向けて、良いスタートを切りましょう!!



児童朝会で今年のめあての発表をする子どもたち。国語や算数の勉強のめあてや生活リズムにわたるまであり、意識の高さがうかがえました。6年生は卒業にもふれて、小学校生活の締めくくりと中学進学への決意が感じられました。

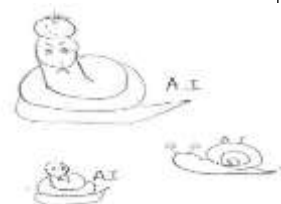


## 体力アップ 頑張ってます!!

「去年より上手にのれるようになりたい」 子どもたちは向上心を持ちながら「1輪車」と「竹馬」「大縄跳び」に取り組んでいます。1年生にとっては初めての乗り物挑戦。紅白の上級生が手取り足取り、練習に付き合っています。こんなことができるのも横山小学校の良いところ。上級生のアドバイスはすうっと子どもたちに入っていくものです。そして、次は自分が教える立場になるんだという文化・継承が根付いているのも横山小学校のすばらしさです。2/17(月)3校時が発表会の予定です。



竹馬やなわとびの字跳びは一年生にとってとても難しい! 怖がらず練習を続けています。





1・2年生は大縄に入るタイミングの練習中。2年生がよいお手本になっています。苦手な子にもやさしく、「大丈夫」「どんまい」の音が響きます。こんなつながりも横山小のよいところです!



一輪車の演技はさすが高学年! 3人技 4人技と自分たちで考え練習中です!

## 特別支援教育支援員

### 中川先生着任!!

昨年度より2名少ない職員でスタートした今年度ですが、ようやく特別支援教育支援員の先生の配置がありました。中川省蔵先生です。豊後高田市出身。多くの学校現場、地域の役員を経験されたベテランの先生です。まずは低学年の授業から学習支援に入ってもらっています。既に子どもたちとたくさん交流していただいています。中川先生も加わり、今まで以上に子どもたちの学力アップに横山小は頑張ります。



お勉強だけでなく生活全般にわたりたくさんの支援をいただいています。竹馬の補助も安心です!

**横山小のよいところ** 未来につながる力を育成します。

### よいところ⑨

安心・安全ネットワークが充実しています。荒天・災害時のメール連絡。子どものけがや体調変化の保護者連絡。横山小は迅速かつ確実な連絡ネットワークが構築されています。



先日の降雪時も、前日の注意喚起メール、当日早朝の登校時間変更メールを確実に配信。短時間で保護者の皆様へ通知することができました。けがやトラブル時も担任が迅速に連絡するシステムを構築しています。

←1月10日朝の様子。横山地区も美しい雪景色。積雪少でしたが凍結・転倒の恐れがありました。